

2022年4月

デジタル交通社会のありかたに関する研究会 の設置について

- 「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（令和3年12月24日閣議決定）を踏まえ、デジタル交通社会のありかたについて有識者のご意見を頂くための研究会を設置する

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（抜粋）

人から物まで、歩くから飛ぶまでの全ての移動モードを対象として、空間利用の高付加価値化や効率化に向け、官民で連携して、生活やエネルギー等をも考慮した将来像を描くとともに、データの共有や連携、利活用に向けたルールの整備等を行いながら、将来像を実現するデジタル交通社会全体のアーキテクチャを設計・実装することにより、課題解決を行う必要がある。

■研究会におけるテーマ

- ① デジタル交通社会のありかた（将来像）について

デジタル社会が進展するなかでの国民一人一人の目線に立った社会や暮らしのありかた、そこからバックキャストしたモビリティのありかたについて広い視点からご意見を頂く

（立ち上げ当初は、構成員から順次ご発表を頂き、それを受けて自由闊達にご議論頂くことを想定）

- ② 「官民 ITS 構想・ロードマップ」に代わる新ドキュメントについて

官民の取組の方向性等の明確化や目標設定、マイルストーンとなる新たなドキュメントの作成にあたってご意見を頂く

■スケジュール

2022年4月立ち上げ、6月まで3～4回程度の開催を予定

(別紙)

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和3年12月24日閣議決定) 抜粋

⑤ モビリティ

我が国は、世界的な競争下にある自動運転に関し、官民一体となり技術開発と制度整備を進めてきたことで、令和3年(2021年)には世界初の自動運転レベル3の型式指定が行われ、国内で販売が開始される等、世界をリードしてきた。

一方で、我が国では、国民一人ひとりの移動手段の自由の確保、交通事故の削減、少子高齢化に伴う人材不足の解消、物流・人流の効率化を通じた環境負荷の低減や、生活者の利便性の向上や関連産業の国際競争力の強化が喫緊の課題となっている。

これらの解決に資する新たな手段として、自動運転に加え、MaaS(Mobility as a Service)やオンデマンド交通などの発達、ドローンや自動配送ロボットを始めとした新たな輸送手段の出現など、デジタルを活用した新たなモビリティサービスが普及しつつある。

これを踏まえ、人から物まで、歩くから飛ぶまでの全ての移動モードを対象として、空間利用の高付加価値化や効率化に向け、官民で連携して、生活やエネルギー等をも考慮した将来像を描くとともに、データの共有や連携、利活用に向けたルールの整備等を行いながら、将来像を実現するデジタル交通社会全体のアーキテクチャを設計・実装することにより、課題解決を行う必要がある。

デジタル交通社会のありかたに関する研究会 各回論点について

住民/暮らし起点に始まり、ありたい社会の描き方へ繋げていく

回	位置づけ/論点	テーマ (案)
第1回	<p>コンセプトを共通認識にする</p> <p>全て住民/暮らし起点で考えることを具体例で理解する</p>	<p>住民/暮らし起点で取り組まれる境町の事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が暮らしの中で困っていたことは何か？ それを受けて何に取り組んだか？ ・暮らしの中にモビリティをどう位置付けたか？ 実現のカギは何であったか？ <p>住民/暮らし起点で取り組まれる海外の事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民/暮らし起点で、どんな街が作られ、モビリティが形成されているのか？ ・それはどのような背景/コンセプトで実現されたか？ その本質は何か？ <p>住民・暮らし起点の様々な課題とあるべき姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民・暮らし起点の具体的な課題は何で、モビリティのあるべき姿は何か？ ・あるべき姿に向けて、どのような方法が必要と考えるか？ <p>住民・暮らし起点で課題解決する手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手法としてのリビングラボでどのようなモビリティ課題を解決してきたか？ ・それはどのような工夫によって実現可能であったか？ <p>Well beingの視点から見たいあるべき社会/モビリティのあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米・日本を取り巻く住民起点の価値観の潮流の変化はどのようなものか？ ・その潮流はWell beingという社会・人（更に環境・健康等を含む）に対する考え方、モビリティのありたい姿は？ <p>人間中心を目指すアーキテクチャ描き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民/暮らしは、アーキテクチャの中でどのように位置づけ・役割を果たすか？ ・人間中心のアーキテクチャは住民/暮らしを巻きこみ、どのように構築されるべきか？
第2回	<p>コンセプトを受けて、具体化する</p> <p>具体的な課題を見つけ、それを解決の方向や方法を考える</p>	
第3回	<p>指標化・構造化する</p> <p>俯瞰した、住民/暮らしにとつてのありたい社会、その描き方を考える</p>	